

おうちの はなし

259

家は庭に連なり、庭は空に連なり、空は広く世界に連なる。
窓を放てば、風も葉も舞踊も俄かに部屋インテリアになる。

風が吹くと枝葉は揺らぎ、手舞足踏の喜びにも見える。



庭のリフォーム ——生活文化のリフォーム

- ・リフォーム理由
- ・QOLを高めるリフォーム
- ・庭のリフォーム

『雨の音』

素敵なお庭に伺いました。解放されているリビングルームは中に入ると木の香りがしました。いい匂いです。高い天井と、大きな窓。周りは緑に囲まれています。本棚には山に関する書籍がたくさん。そして音楽を聴くと驚くほど良い音。静かな時間が過ぎていきます。

突然雨が降ってきました。緑が生き生きと美しくなっていきます。雨の音もとても心地よい。思わず音楽を止めて雨の音の中で過ごしました。

そういえば、雨の音がうるさくて眠れないと母に文句をいったのはいつ頃だったかなあと思いました。



雨の音、こんなに気持ちいいのに……。

最近、家の中にいると雨の音は聞こえませんが。防音がしっかりしていますから。

でも、雨の音が聞こえる。風の音が聞こえる。風鈴の音が聞こえる。虫の鳴き声が聞こえる。このことをとても贅沢に感じました。

音を聴かせてくれるながら、私たちが守ってくれている『家』と『窓』の存在に改めて感謝の気持ちが生まれました。

自然の心地よい音だけ取り込んでくれる窓。

そんな窓があったら嬉しいなあ。などと調子のいいことを思ったり……

雨の音を聴きながら、とても幸せな気持ちになりました。

ママはインテリアコーディネーター

一般社団法人 日本インテリアアテンダント協会 理事長 小川千賀子

今の家に満足していないところがあれば、新しい住環境を求めたくなります。それが持ち家で住み続けようと考えれば、リフォームをします。でも、ほんとうに差し迫った不便さがなければ、そのまま住み続けてしまいます。そんな時、暮らしを一転させる豊かな、文化的なリフォームがあります。庭をリフォームするのです。

庭のリフォーム



生活文化のリフォーム

リフォームする理由

毎日住まいながら、ちょっとした不便さや不快さを感じていることはありませんか。借りて住んでいるのであれば、悩みは少ないかもしれませんが、借りているものだからと我慢している人



も少なくないはず。

「いいよ、うちも手を入れないとダメかなあ」と、持ち家の場合は、多くの人の方がリフォームを検討します。もちろん、より良い暮らしを求めてのことです。その意味では、リフォームの要望を知れば、どのような生活への豊かさを求めているかがわかります。その事例を、まずはデータから覗いてみましょう。

リフォームの目的

このデータから、古くなった家で困っていることはどのようなことなのかわかります。

真っ先に上げられているのは、キッチンや浴室・洗面などの住宅設備です。

水漏れがあればリフォームをしないわけにもいきません。特に給湯器などの設備は、10年も使えば効率も落ちます。その上、新しい住宅設備もいろいろと開発され便利になっています。

次に内装や外装などの変更です。実際に生活をすれば汚れも目立ち始め、雨風に当たって外装も傷んでいきます。リフォームすれば、これらもまた新しくなります。

最近ではサッシの入れ替えを行うことも増えています。脱炭素の活動もあって、性能を高める動きも盛んになっています。

「便利になる」「新しくなる」「快適になる」「きれいになる」というのは、リフォームをする時の最も大きな動機で

す。しかし裏を返せば、それだけ日頃の生活の中で不便に思い、不快に感じていることがあるということです。そして我慢できなくなった時に、リフォームに踏み切ることになります。

ところがよほど日本人は我慢強いのでしょうか、まだ日本のリフォーム市場は途上にあります。日本では既存住宅の流通やリフォームよりも、新築市場の方が大きいのが現状です。

しかし、日本の家が特別に傷みにくい高性能を実現しているわけでもなく、四季を生む寒暖の差があり湿気の多い気候が建物に良いとも思えません。

その上日本以外の国々では、簡単なリフォームは自分で行う傾向と習慣があります。壁を塗り替え、設備の修繕までも自分でやるのです。手入れもすべてプロに任せることが多い日本では、さらにリフォームが盛んになっても良いはず。リフォームには不便や不快を動機とするよりも、もっと別の目的があってもよいのではないのでしょうか。

毎日を暮らす家は、生活の中心です。そして豊かな家には、豊かな生活があります。不便で困ってるから直すというようなリフォームではなく、今の生活が変わると感じるようなリフォームを、一度イメージしてみたいかがでしょうか。

それは暮らし方への考え方も変わる、いわば「住まい文化のリフォーム」です。

庭のリフォーム



生活文化のリフォーム

Quality Of Life

QOLという言葉、聞いたことがありますか。医療や介護の世界で使われている言葉で、「Quality Of Life」の略です。医療技術が進み、さまざまな病気を治療することができるようになりましたが、病気は治っても人間らしさが損なわれてはいけません。QOLを高めることは、人間らしい過ごし方や、自分らしい生活を送り人生の幸福感を高めることです。

QOLには生活環境や居住環境などが含まれます。その意味では住まいづくりにも、十分に考えられるキーワードです。

先に書いたリフォームの現状と照らし合わせると、不便や不快な要素を解決するだけでは、QOLの高い自分らしい生活になるとは限りません。その意味では「便利になる」「新しくなる」「快適になる」「きれいになる」という動機とは違う理由で、今の家をリフォームすることを考えてみることで。

それは必要に迫られているリフォームではないので、少しイメージしにくいかもしれません。そこで必要に迫られていないリフォームのイメージとして、「庭のリフォーム」を考えてはいかがでしょうか。

庭のリフォーム

庭をつくることは戸建て住宅の大きな楽しみのひとつです。しかし家を新築する時でも、建物のことばかりに気を取られて、なかなか庭のことまで思いが届かないものです。また、生活していても、家の中ほど不便さを感じることは少ないと思います。さらに庭をリフォームしても、一般的には快適さが増すものではありません。それだけに庭のリフォームは、イメージしにくいかもしれません。

そこで現在の家の庭に面した居室に座って、庭を眺めてみてください。

次のようなものが見えませんか？

- 隣家のブロック塀
- 隣家の小窓
- 物干し竿の端や一部
- 車や自転車
- 物置や植木鉢など
- 通りを通行する人

もしくは、いつも窓にはレースのカーテンが閉められていて、せっかくの窓にも開放感がなくなっていることはありませんか。窓から見える風景を変えると、インテリアの印象も大きく変わります。

もともと窓とは、日本の住まい文化

では間戸と書き、柱と柱の間に壁ではなく扉がはめ込まれ、開放された部分のことです。この間戸に縁側をつくって、その先の庭とのつながりを生み出したのが日本の家屋です。



そして左右は柱、上下は鴨居と縁側で切り取るようにして庭の風景を室内に取り込みました。

たとえば平成17年に完成した京都迎賓館では、窓の背が高いのを軒先を伸ばすことでわざわざ空を切り落として、庭を取り込んでいます。窓は庭の風景を切り取って生け捕りにする、ピクチャーウィンドウなのです。

木を変えると気が変わる

もちろん庭が広ければ越したことはありませんが、あまりスペースに余裕がなくても、庭のリフォームは可能です。かえて窓の風景を一新させるという意味では、広くないスペースの方が向いているかもしれません。その良



い事例が、京都に代表される坪庭です。

茶室の造作では、小窓の外に植栽を植え、生掛けという生きた掛け軸として工夫することも行われてきました。窓から見た植栽の植え方ひとつでも、庭の雰囲気は大きく変わります。

坪庭づくりでは、植栽の配置は座敷から見て決められ、遠近のバランスが考えられています。さらに大きなコツは、地面の見え方です。手前から奥まで、同じ素材で続かせることによって広がりを感じられるようになります。

さらに京都の坪庭では、室内の温熱環境にも貢献しているといわれています。現実的に建物の断熱性だけではなく、家の周囲の植栽によって、古来から夏の日射や木枯らしを避けてきました。たとえば沖縄の古民家にある屏風や福木などのさまざまな事例が日本各地で見られます。庭木によって、敷地にある空気を変えることができるということです。

最近では、窓の外にヘチマやゴーヤなどのグリーンカーテンを育てることも、いわば最も手頃な庭の



リフォームといえます。窓の外に風に揺らぐ緑の葉っぱが見えるのは、心が安らぎます。庭をリフォームすることは、文化的な暮らしに加えて快適さにも通じていることでもあるのです。

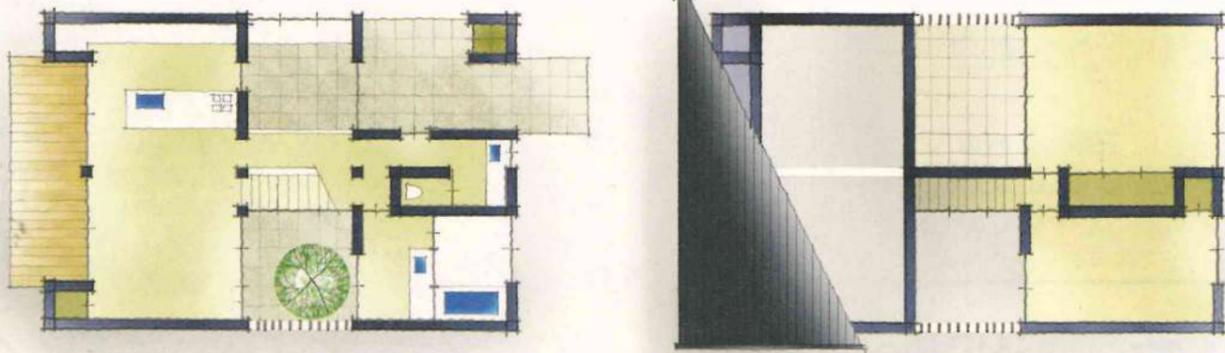
庭をリフォームすることは、技術的、物質的な快適さではなく、住まい文化を向上させる文化リフォームともいえる暮らしの変化になるのではないのでしょうか。

もちろんリフォームだけではなく新築を考える時にも、窓から見える庭のあり方は大切なことです。住まいながら少しずつ気づき、工夫を加えてゆくことです。より文化的な暮らしを求めて、庭のリフォームをイメージしてみてください。

PHOTO by タカショー ▶



モニナルマドリ



庭を取り込んだ家

1F 17.0坪 2F 10.0坪 TOTAL 27.0坪

玄関の正面にも、玄関の上の2階にも家の中に庭を取り込む。LDKは勾配天井で南庭から中庭に風が吹き抜ける。



ココアカラーとストライプ

温かみのあるココアカラーのベッドカバーとアクセスクロス。大きなミラーとストライプのカーペットがアクセントに。



ベッドルーム

ベッドヘッドボード	デザインクラブオリジナル	敷き込みカーペット	東リ/HG-4651
サイドテーブル	デザインクラブオリジナル	アクセントクロス貼り	トミタ/TOL2512
マガジンラック	デザインクラブオリジナル	天井クロス	リリカラ/K6-078
ミラー	デザインクラブオリジナル	壁クロス	リリカラ/K6-078
シェード	東リ/KTB2372	幅木	TOPPAN/TE-729
フットスロー	SAHCO/XANDR3NA242902	木製扉	TOPPAN/TE-889
クッション	FEDE/FC57508	引き戸取手	ユニオン/ATH401-029
ピロー	サンゲツ/CK2090		



レトロ調タイルガーデンシンク

ガーデニングでは脇役的な存在ですが忘れてはいけないのがガーデンシンクです。一体化されたステンレスや樹脂製の商品が多くあるなかで昭和を思わせるレトロ調のものが玉川窯業のオリジナルタイルガーデンシンクです。

モルタル下地にモザイクタイルを張った昭和レトロシリーズの流し台はひとつひとつ職人が丹精を込めてつくる1点もの。タイムスリップしたような仕上りは「なつかしくてあたらしい」、お

洒落な商品といえるでしょう。形状、色柄を数多くそろえてあり、外部だけでなく室内でも採用されています。

このシリーズ商品はシンクの他にガーデンパン、植栽マス、水柱柱がありコーディネートが楽しめます。またタイル仕上なしのモルタル下地商品もありDIYで仕上げることもできます。



玉川窯業 株式会社

ひとに教えたくなる チョットいい話

ガーデンシンクはご家庭のお客様だけでなく、保育施設やキャンプ場などからもご注文をいただいています。キャンプ場では、「グランピング施設とマッチしてお客様にご好評」とのうれしいご感想もいただきました。また、自分で選んだタイルでつくるセミオーダーシンクはこだわりの強いお客様に喜んでいただけております。お庭のガーデンシンクを模様替えしてみませんか。

●価格: ¥44,000(税込)~ ●材質: モザイクタイル、コンクリート
●403掲載商品: G-0472_010

www.order403.com/



年輪のサスティナビリティ

健康な状態を維持し続けてゆくことは、LOHASの言葉を借りなくても誰でもが望むところです。しかし、真のサスティナビリティ=持続性を考えると、そんなに単純なものではありません。

季節の変わり目には、健康も崩しやすいものです。冬によく馴染んできた身体も、春から夏へと順応してゆ

かなければなりません。頭で考えるほどに身体は季節の変化についてゆけず、なんとなく不調を感じる日々を過ごすことがあります。

私たち人間がそのように感じている、山々に生える木々は、長く耐える冬を過ごして生長のための絶好期を迎えようとしています。特に落葉樹は、光合成のできる葉が全部落ちてしまった冬には、ほとんど生長できないでいました。ですから落葉樹の幹が育つためには、春から秋までの葉がある短い間に集中しなければなりません。

この生長の証しとして年輪が刻まれ

てゆきますが、柔らかくて白い、早く成長した木目を、春目といいます。夏目と冬目ではなく、生長しているのは春目なのです。

皮肉にも人が体調を崩しやすい時が、まさに木にとって絶好調の時であるということです。



この年輪を重ねることで、樹木はさらに強度を増します。

刀鍛冶が鍛錬して積層させることで日本刀を強くするように、鉄板を重ねて板バネをつくるように、重ねた合板が強度を増すように、年輪を刻むことで強度が増します。つまり多くの自然は、季節が変わることによってサスティナブルを維持することができるようになっているのです。

体調が不調と感じていることも、自然の一環であると考えることができたら幸せなのかもしれませんが、なかなかそうはいかないようです。

おうちのはなし

いつかは建てる、住まいづくりのための、情報紙「おうちのはなし」



日本の住宅建設の担い手
住まいづくりの手順
長期優良住宅制度
建てるなら、やっぱり木の家の家歴書の価値
洋風デザイン・和風デザイン
建築費の内訳の見極め方
住まいづくりにかかる諸経費
太陽光発電住宅特集
家庭内事故と対策
これからの住まいと暮らし

住宅情報紙「おうちのはなし」を年間購読しませんか？

年間24回発行×単価120円+配送料100円
年間5,280円(税別)
毎月1日・15日頃、ご自宅にお届けいたします。

TEL 03-6272-6434
FAX 03-6272-6449

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-4-8 4F
www.ouchi874.org/

一般社団法人 住まい文化研究会

リフォームに、新築に、
住まいづくりのセカンドオピニオンをお届けします。

www.ouchi874.org/

発行人：一般社団法人 住まい文化研究会
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-4-8 4F
主筆 石川新治

おうちの家計簿

住まいの資金と税金

こんにちは、
アールです!
L.R.コンサルティング株式会社
代表取締役 吉川浩一

東京都は2025年4月から、都内で新築する戸建て住宅に太陽光発電パネル設置を義務化する方針を固めました。ついに来たかっけ感じです。

アメリカではカリフォルニア州で2020年1月から「戸建て住宅」「集合住宅」が対象の太陽光発電パネルの設置義務化がスタートしています。

日本では太陽光パネルの設置義務を巡っては、工場など一定規模以上の建物に義務付けた事例はありますが、新築戸建てで義務化されれば全国初となります。東京都では戸建て住宅のほか、アパートやオフィスビルなど中小規模の新築建物に太陽光パネルの設置を義務付ける「建築物環境報告書制度(仮称)」を創設する為の関連条例の改正案を22年12月の議会に提出し、可決後2年間の準備・周知期間を経て施行する計画です。設置義務は住宅などを購入する都民ではなく、住宅を販売する戸建て住宅メーカーです。費用は購入者が負担します。小池知事は「事業者と都民双方の理解と協力が不可欠」として、事業者や購入者への補助を拡充する考えも明らかにしています。国と都の補助金が併用で使えるようになれば費用負担の問題も解決しますね。



もう一つ、都市部では敷地や建物の屋根形状によって太陽光発電パネルの設置自体が難しい場合もありますが、先行しているカリフォルニアでは設置義務の例外も認められています。屋根にほとんど太陽光が当たらない場所とか、屋根の「形状」や「小ささ」などから設置が現実的ではない場合です。住宅の建築主は、よくあるように「屋根に太陽光パネルを載せる」方式のほか、たとえば「数戸が合同で太陽光パネルをまとめて設置する」方式を選ぶこともできます。分譲地などで、太陽光が屋根の一部や、ある時間帯に陰になるような住戸がある場合、太陽光のよく当たる「共用部分」の建物などに多数の太陽光パネルを載せて「共用発電施設(shared power system)」とするケースもあるようです。

東京都が実施すれば他の自治体でも追随するところが出てくるかもしれません。

東京都が実施すれば他の自治体でも追随するところが出てくるかもしれません。

住まい文化の栞

玄妙なところへの関門

玄関はあるのがあたりまえのように思っています。日常的に使っていますが、一般的な古民家では玄関があるのはそれほど多くありません。というのは、玄関のかわりに土間とか縁側から、日常的な出入りをしてきたからです。

土間は家事を含めた作業の場であり、竪穴住宅から考えれば、土間以外の居住空間が高床になったと考えた方が腑に落ちます。それと同時に外からは段差のついた縁側ができ、深い庇の下、日本の文化を象徴する曖昧な空間となりました。外と内を結ぶには、土間や縁側は、広さも明るさも玄関よりも適しています。

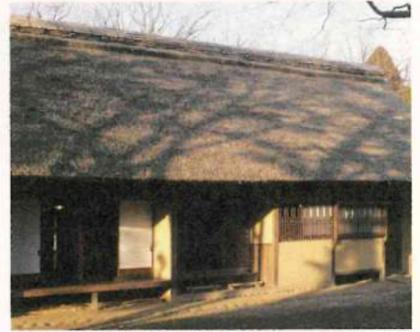
写真の豪農の古民家には、土間と縁側の間に、玄関がわざわざ作られています。あえて玄関をつけるのは、別の意味があつてのことであることが分かります。

玄関の原義は、玄妙なところへの関門です。玄妙なところとはどこのことでしょうか。それは外に対しての内であり、内に対しての外です。外と内

との関係を、玄妙なるほど乖離していると考えているのです。

つまり、縁側や土間は、中間にあって曖昧になるほど外と内を結びつけるものであり、玄関はその差が隔絶していると感じるほど、仕切っているものなのです。そのような使い方を、家族が日常的に行なうことはありません。特別な時に、貴人を迎えるために玄関は造られていたということです。

その意味では、玄関の本当の役割は、結びつきよりも仕切って気持ちを切り替えるところにあるということです。当然、貴人が訪れた日には、家族も緊張して出迎えていたことでしょう。日常ではない、ハレの日に使われるのが玄関であったのです。



家づくり 庭づくり

でも自然風な庭に!

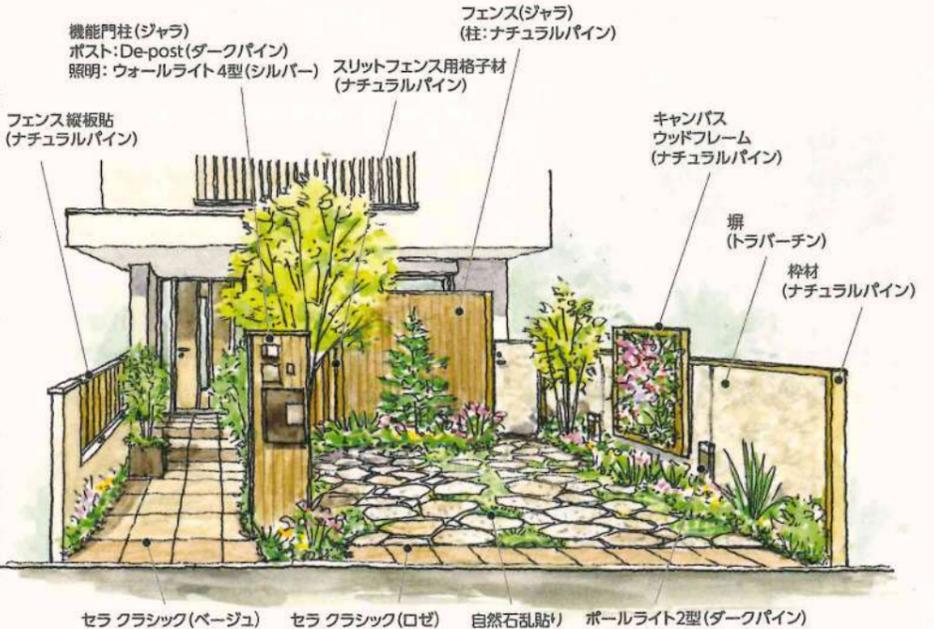
フロントガーデンをナチュラルテイストにしませんか?

塀は、多孔質石灰岩のトラバーチン、塀のセンターにはウッド調フレームのキャンバスを設けます。住宅の1階のはき出し窓と駐車場の境界はジャラの木で、左側のスリットフェンスアートフェンスの縦板貼、トラバーチンの塀の枠材、キャンバスのフレームはナチュラル

パインで統一しました。エントランスアプローチと前面道路沿いの舗装は、整然とした300角タイルのセラクラシックとし、自然石乱貼りを強調しました。

自然風に仕上がるフロントガーデンは、耐久性やデザイン性を考慮して、床材以外は本物そっくりのアートボードでできています。

- 駐車場の床は自然石の乱貼りにし、石貼りのすき間にセダム類などを施し、ナチュラルなイメージに
- 駐車場の塀やスリットフェンス、トラバーチンフェンスの足元は、草ものを植えて、四季の花々で色を楽しみます。



Takasho 5th ROOM

庭は五番目の部屋。



やすらぎのある空間づくり

株式会社タカシヨー

和歌山県海南市南赤坂20-1

お客さまサービスセンター 0120-51-4128

タカシヨー



オールガラスポーチ



ホームヤードルーフィングシステム

J/EUポーチ

フレームポーチ